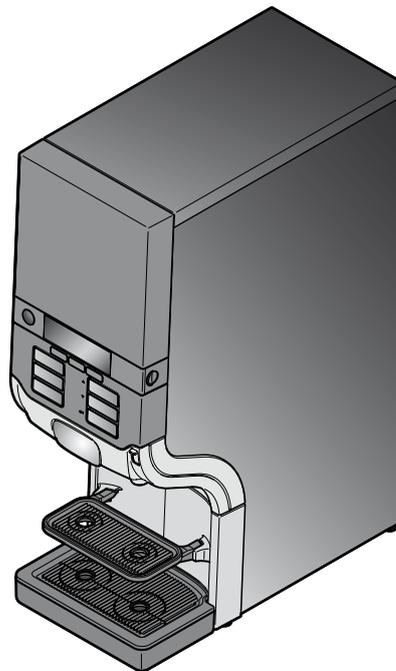


Cafitesse Quantum 110



取扱説明書

595229300 2016 - 02

Copyright 2016 © JACOBS DOUWE EGBERTS, オランダ

英語版が本取扱説明書の原文です。
そのほかの言語版は、原文の取扱説明書の翻訳です。

製造元:
N&W Global Vending SpA
Via Roma 24
24030 Valbrembo (BG)
イタリア

目次

| | | | |
|-------------------------------|-----------|--|-----------|
| 1. はじめに | 4 | 5. 装置の清掃 | 21 |
| 本装置について | 4 | 清掃工程 | 21 |
| 本取扱説明書について | 4 | 清掃&洗浄 | 21 |
| 2. 安全使用上の注意事項 | 5 | 洗浄 | 23 |
| 一般注意事項 | 5 | 装置の外部パーツの手作業による 日々の清掃 | 24 |
| 設置 | 6 | 6. 装置のプログラミング | 25 |
| 運搬、保管、使用 | 7 | 操作者モードの開始 | 25 |
| 食品安全のための注意事項 (HACCP) | 8 | メニューナビゲーション | 26 |
| 3. 各部の名称 | 11 | カウンタの読み取り/リセット可能 なカウンタの読み取り | 27 |
| 装置の正面 | 11 | リセット可能なカウンタをゼロに 設定 | 29 |
| 装置の裏面 | 11 | 一杯の分量の変更 | 30 |
| ディスプレイのシンボル | 12 | 飲み物の濃さの変更 | 31 |
| 4. 装置の操作 | 13 | 日付と時刻の設定 | 32 |
| カップとポットの正しい置き方 | 13 | 清掃日の設定 | 33 |
| 飲み物の抽出 | 13 | エコ設定 | 35 |
| 飲み物一杯分の抽出または 連続抽出 | 14 | 電話番号の設定 | 37 |
| 予備選択による飲み物の抽出 | 15 | 7. ディスプレイメッセージと トラブルシューティング | 39 |
| 製品パックのセットと交換 | 17 | 8. 技術仕様 | 42 |
| 装置のスイッチを入れる | 19 | 9. オプション | 44 |
| 装置のスイッチを切る | 19 | ソフトウェアオプション | 44 |
| 装置のロック/ロック解除 | 20 | ハードウェアアクセサリ | 44 |
| | | 10. 索引 | 46 |
| | | 清掃工程 | 47 |

1 はじめに

本装置について

Cafitesse Quantum 110は、専らコーヒー、茶、熱湯を抽出するための業務用装置です。

本装置は、使い捨ての専用製品パックと組み合わせて使用します。特許の「Bag-in-Box」(BIB)製品パックには、コーヒー抽出用の高級液体濃縮飲料が入っています。本装置には、製品パックを1個収納できます。

飲み物を注ぐために、さまざまなサイズのカップやポットが使用できます。装置に下記のオプションを装備される場合は、お客様のCafitesseシステム販売店でご注文ください。

- ・ 飲み物の自動販売システム（「オプション」参照）
- ・ 抽出部から冷水を注ぐための冷水バルブ（「オプション」参照）
- ・ 二箇所の抽出部から冷たい飲み物と冷水を注ぐための冷水バルブ（「オプション」参照）
- ・ 指定されていない人が装置にアクセスするのを防ぐための扉のロック
- ・ 装置の抽出が停止されているときに、一時的に飲み物を抽出するためのUSBロック解除キー。

上記のオプションは、どの国でもご利用いただけるわけではありません。

本取扱説明書について

本取扱説明書には、装置の主要な用途と機能が説明されています。装置の立上げに先立ち、装置の機能の仕方と安全使用上の注意事項を確実に理解されるよう、本取扱説明書をお読みください。

本取扱説明書では、下記のシンボルが使用されていて、これらに注意を払う必要があります。



注記

装置操作中に役立つであろう追加情報。



注意

食品の安全を保証し、人の傷害や装置の損傷を防ぐために、特別な注意を払うべき情報。



警告

人の重傷や死亡、もしくは、装置の重大な損傷を引き起こすおそれのある危険。



危険

人の重傷や死亡を引き起こす危険。

2 安全使用上の注意事項

一般注意事項

装置の操作、清掃、移動に先立ち、本取扱説明書に盛り込まれている説明を入念にお読みください。装置を操作、清掃、移動するすべての人が、装置の安全面と衛生面についての知識を持ち、それに従って行動するようにしてください。

本装置は、飲み物を抽出するためののみ、本取扱説明書の指示に従って利用することが許されています。装置を不適切に使用された場合や本取扱説明書で説明されている方法に従われなかった場合、メーカーは、損傷または傷害の責任を負いません。

- ・ 装置の設置、メンテナンス、修理、プログラミングを実施できるのは、Cafitesseシステム販売店がおお客様にお伝えする、必要な教育課程を修了し、認可されているサービステクニシャンのみです。
- ・ 装置の操作のために、純正スペアパーツのみを使用してください。
- ・ 装置の操作、充填、清掃は、研修を受けた指定スタッフのみが実施できます。
- ・ 装置は、戸外への設置には適していません。
- ・ 装置は、研修を受けたスタッフが監視できる場所に設置する必要があります。



警告
装置から出る液体は熱くなっています！
熱湯傷を起こさないよう注意してください！
飲み物の抽出中や洗浄プログラムの進行中は、手やそのほかの身体部位を装置から遠ざけてください。



警告
熱い液の入ったカップ、ポット、容器を装置の上に絶対に置かないでください。
落ちると、熱湯傷を起こすおそれがあります。



警告
熱い液体飛沫が出るとき簡単によけられるように、装置の周囲に十分に場所を空けておくようにしてください。



警告
本装置は、(児童も含め) 身体、感覚、精神能力が制限されている人、経験不足および/または知識不足の人の使用には適していません。ただし、それらの人の安全に責任を負う人に監督されていたり、装置をどのように使用するか、その人から指示を受けた場合は、この限りではありません。児童は、この装置で遊ばないことを



保証するために、監督する必要があります。

警告
幼児が飲み物キーを押せないように、高さ60cm (24in) 以上のテーブルやカウンターの上に装置を設置してください。



注意
(熱い) 液体がドリップトレイからあふれて熱湯傷を引き起こしたり床がぬれるのを(滑る危険)防ぐために、装置のドリップトレイを定期的に点検し、中の液体を空けてください。

I 2 安全使用上の注意事項

設置

装置の設置とプログラミングを実施できるのは、Cafitesseシステム販売店がお客様にお伝えする、必要な教育課程を修了し、認可されているサービステクニシャンのみです。

装置は、屋内の、テーブルやカウンターなど安定した面上に設置するよう設計されています。

- ・ 装置を据え付ける際、壁までの間隔を約5 cm / 2 in取るようにしてください。
- ・ 氷点下の冷氣、雨、直射日光から装置を保護してください。
- ・ 流水、飛沫、噴霧、または蒸気、高熱、高濃度の粉塵から装置を保護してください。

 **警告**
装置は、水噴射を利用して清掃してはなりません。また、周囲で(清掃などのために)水噴射が行われるような場所への設置には適していません。

- ・ 換気のために、装置の周囲にスペースが十分あることを確認してください。
- ・ 清掃とメンテナンスが行えるように、装置の正面と裏面に手が届く状態にしておいてください。
- ・ 国や地方の法規に従って、飲用水の配管に装置を接続してください。

 **注意**
給水源への接続には、EN 61770に基づくホースセットのみ使用することができます。

 **注意**
冷たい飲み物を抽出するために装置を利用される場合、人体に無害な、冷たい飲み物を確保するために、国や地方の法規に従って、予め飲用水の水質を検査してください。

- ・ 国や地方の法規に従って、安全器が組み込まれている電気回路に装置を接続してください。

壁のコンセントに装置を接続する場合、以下に注意してください。

- ・ 国や地方の法規に従って、接地された安全ソケットを利用してください。
- ・ 故障電流遮断器により電気回路の安全が確保できる状態にしてください。
- ・ 設置後もプラグに手が届きやすい状態にしてください。

 **警告**
手または電気ケーブルまたはコンセントが湿っている時は、絶対に電源やプラグに触れないでください。

(電源プラグなしで) 永久接続された電源に装置を接続される場合、すべての接点が開くようになっている、接点間距離が少なくとも3 mm / 0.12 inの遮断機が電気回路に装備されていることを確認してください。

運搬、保管、使用

装置は必ず元の梱包箱に入れて保管、運搬してください。

装置の保管と運搬に先立ち、

- ・ 製品パックを冷蔵庫に入れてください。
- ・ 装置の清掃をしてください。
- ・ Cafitesseシステム販売店に連絡して、必要な教育課程を修了し、認可されているサービステクニシャンに、ボイラーから水を抜き、氷点下の冷気による損傷から装置を保護する作業をご依頼ください。



警告

使用中、保管中、運搬中は、装置を氷点下の冷気にさらさないようにしてください。

保管または運搬のあと、氷点下の冷気による損傷が想像される場合、Cafitesseシステム販売店に連絡し、装置の点検と機能テストの実施をご依頼ください。

装置のメンテナンス

装置のメンテナンス、修理、プログラミングを実施できるのは、Cafitesseシステム販売店がお客様にお伝えする、必要な教育課程を修了し、認可されているサービステクニシャンのみです。



警告

万一、装置の電源ケーブルが損傷した場合、装置のスイッチを切り、Cafitesseシステム販売店に連絡し、電源ケーブルの交換をご依頼ください。

I 2 安全使用上の注意事項

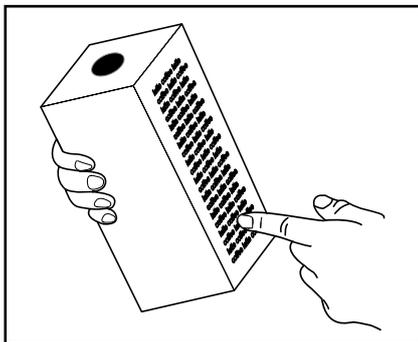


図1

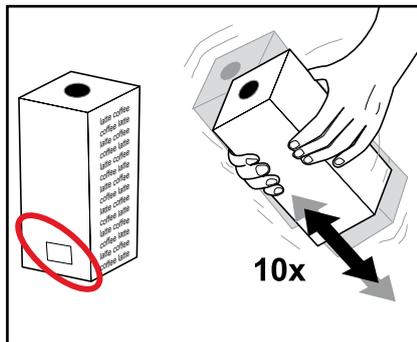


図2

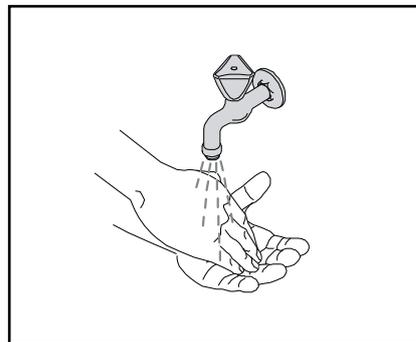


図3

食品安全のための注意事項 (HACCP)

装置の操作者は、安全で衛生的な操作に責任を負います。したがって、食品安全の標準を満たすため、下記の注意事項を守ってください。

製品パックの保管

- ・ パッケージの説明に従って、コーヒーまたは茶の製品パックを保管してください (図1)。
- ・ パッケージに記載されている賞味期限を守ってください (図2)。

- ・ 「first in - first out」 (最初に保管した製品パックを最初に使う) という原則に従って、製品パックをセットしてください。
- ・ 賞味期限が過ぎている製品パックは使用しないでください。

製品パックの取り扱い

1. 製品パックを手取る前に、手を洗ってください。(図3)
2. 製品パックは、装置にセットする前に、最低10回は振ってください。(図2)
3. パッケージ裏面の注意書きをお読みください。
4. 製品パックに損傷がないか検査してください。製品パックが損傷している時は、使用しないでください。

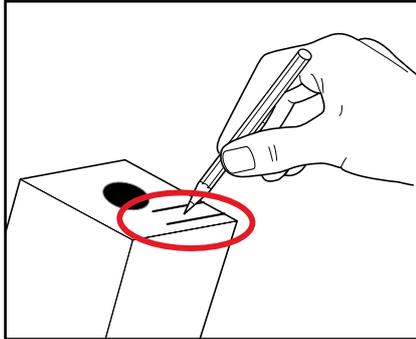


図4

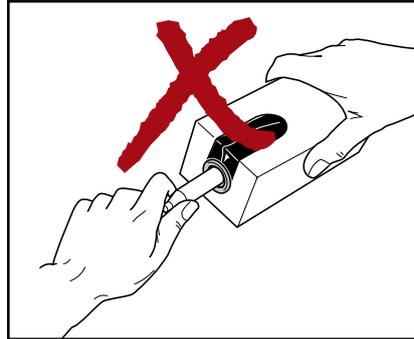


図5

5. 製品パックのラベルに記載されている賞味期限を確認してください。賞味期限が過ぎている製品パックは使用しないでください。
6. 製品パックに記載されている指示に従ってください。少なくとも、消費期限を製品パックに記入してください。(図4)



注記

開かれた製品パックは、液体を衣類や床、またはそのほかのアクセサリにこぼさないよう注意してください。



注意

計量装置の先端部を手や清掃用の布で触れないでください。計量装置を清掃する必要がある場合、真水を使って水洗いするだけにしてください(図5)。

(一斉休業中など) 長期間装置を使用しない場合、「装置のスイッチを入れる/切る」の項目で説明されている指示に従ってください。

I 2 安全使用上の注意事項

装置の清掃

定期的に装置の清掃をしてください。

1. 装置の周囲を清掃してください。
2. 装置または製品パックに触れる前に、手を洗ってください。
3. 取扱説明書の指示に従って、装置の清掃をしてください。（「装置の清掃」の章参照）。
4. 清掃に当たって、装置の中にある製品パックの賞味期限と消費期限を点検してください。万一、これらの期限の一つが過ぎている場合、製品パックを交換してください。
5. 清掃作業の計画を立て、点検簿に記録するようにしてください。



注意

洗淨剤を使い、パック内容に接触するあらゆる装置パーツを洗淨してください。食品業界と Cafitesse システム販売店が推奨する洗淨剤を使用してください。洗淨剤を安全に取り扱い、計量、使用するために、洗淨剤のラベルに記載されている指示に従ってください。



危険

装置に噴霧水または飛沫水をかけないでください。清掃に水噴射を使用しないでください。

絶対に装置を水に浸けないでください。



危険

装置の後ろまたは下を清掃するために、絶対に装置を傾けないでください。熱湯傷を起こさないよう注意してください！ボイラーには非常に熱いお湯が入っていて、装置を傾けたり動かしたりすると、その熱湯が出てくるおそれがあります。

研修

食品安全のための注意事項（HACCP）について、新人教育を行ってください。

- ・ 清掃のスケジュールと工程を新しいスタッフに教えてください。
- ・ 新しいスタッフが装置を操作し始める前に、取扱説明書を読ませるようにしてください。
装置の近くに取扱説明書を保管してください。

そのほかにご質問がございましたら、お客様の Cafitesse システム販売店にお尋ねください。

3 各部の名称

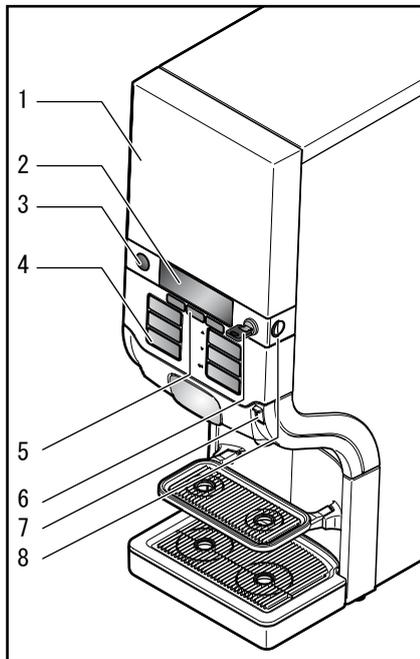


図6

装置の正面

- 1 - 装置の扉
- 2 - シンボルディスプレイ
- 3 - ストップキー
- 4 - 飲み物キー
- 5 - 予備選択キー
- 6 - 扉の錠と鍵 (オプション)

2016 - 02

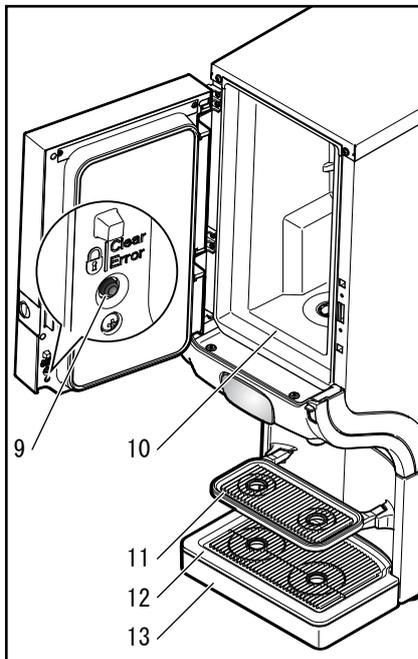


図7

- 7 - USBキーの接続部
- 8 - 扉ロック解除キー
- 9 - ロック/クリア・エラー・スイッチ
- 10 - 冷蔵室
- 11 - カッププレート
- 12 - ドリッププレート
- 13 - ドリップトレイ

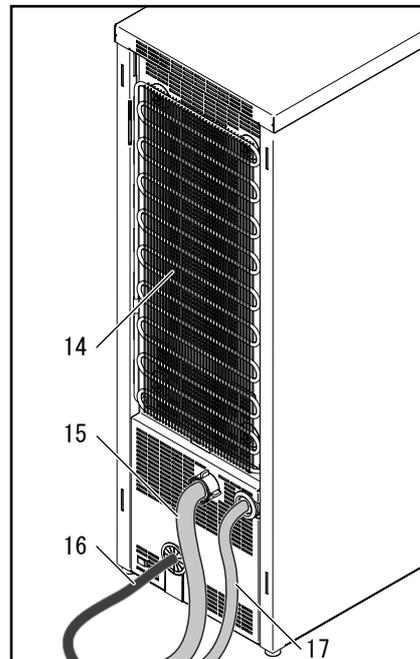


図8

装置の裏面

- 14 - コンデンサの格子
- 15 - 給水ホース
- 16 - 電源ケーブル
- 17 - 冷たい飲み物/冷用水給水ホース (オプション)

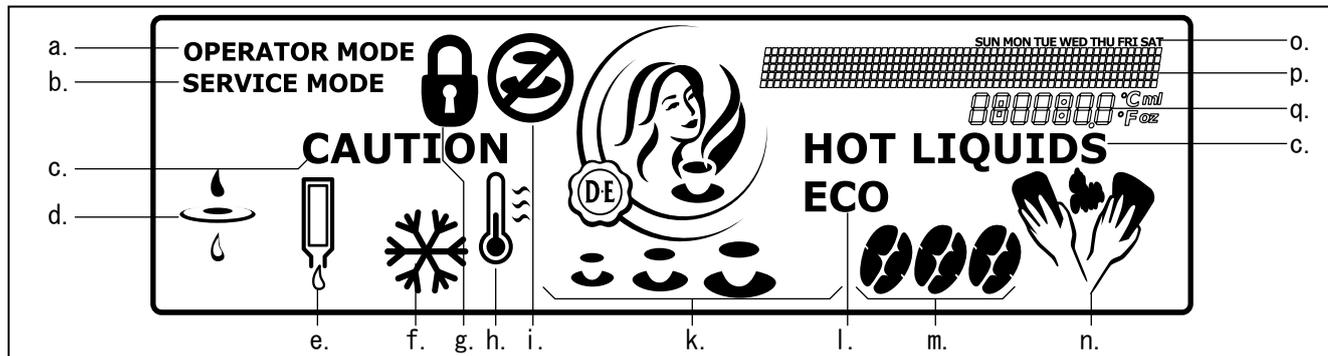


図9

ディスプレイのシンボル

- | | | |
|--|---|---|
| <p>a. OPERATOR MODE (操作者モード) USB操作者スティックが使用されていて、操作者モードになっている</p> <p>b. SERVICE MODE (サービスモード) サービスモードになっている</p> <p>c. CAUTION HOT LIQUIDS (注意: 熱い液) 装置から熱い飲み物または熱湯が抽出されている、または、装置が洗浄されている</p> <p>d. フィルター 浄水フィルターを交換してください</p> <p>e. 製品パック 製品が充填されている製品パックをセットしてください。</p> | <p>f. 冷飲料予備選択 (オプション) 冷たい飲み物を抽出する</p> <p>g. ロック 装置がロックされ、飲料が抽出されない</p> <p>h. 温度 ボイラー内の水温が低すぎ、現在加熱中</p> <p>i. 抽出停止 装置は選択された飲み物を抽出できない</p> <p>k. 分量予備選択 小、中、大の内、いずれかの量の飲み物を抽出する</p> | <p>l. エコ 省エネモードになっている</p> <p>m. 飲み物の濃さ予備選択 薄い飲み物、普通の濃さの飲み物、濃い飲み物のうちいずれかを抽出する</p> <p>n. 清掃 装置の清掃をする</p> <p>o. 曜日</p> <p>p. メッセージ欄 プログラムステップにより作業の手引きをするため、またはエラー発生時にメッセージが表示される</p> <p>q. 情報欄 冷蔵庫の温度、時刻などの表示</p> |
|--|---|---|

4 装置の操作

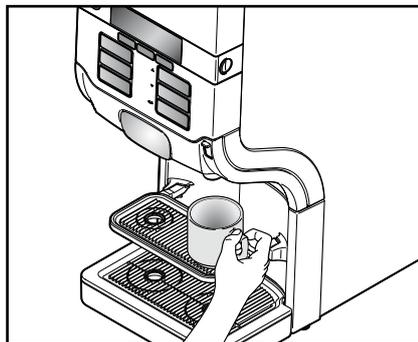


図10

カップとポットの正しい置き方

装置には製品抽出部が二個付いています。

- ・ 左 コーヒーまたは茶の抽出用
- ・ 右 熱湯抽出用



注意

選択する抽出キーの下方の抽出部の下にカップまたはポットを置いてください。

- ・ カップをカッププレートに置いてください。(図10)
- ・ ポットを置く場所を作るには、カッププレートを上倒してください。(図11)
- ・ ポットをドリフトレイに置いてください。(図12)

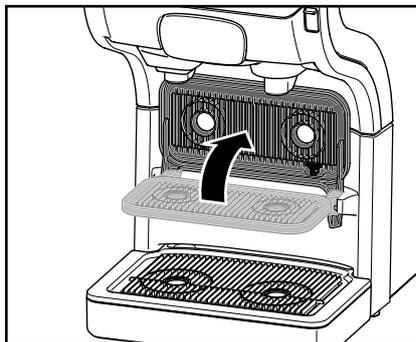


図11

背の高いポットには専用のベースが必要になる場合があります。

飲み物の抽出



警告

装置から出る液体は熱くなっています！

熱湯傷を起こさないよう注意してください！

飲み物の抽出中は、手やその他の身体部位を装置から遠ざけてください。

監視なしでは、絶対に児童を装置に近づけないようにしてください。



図12

飲み物の抽出

1. カップをカッププレートに置いてください。(図10)
2. ご希望の飲み物キーを押してください。選択されたキーに属する抽出部から飲み物が出てきます。
3. 飲み物の抽出を中断したいときは、ストップキーを押してください。

I 4 装置の操作

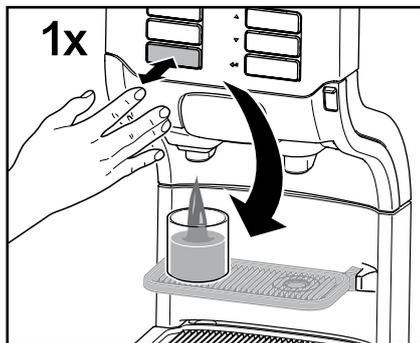


図13

飲み物一杯分の抽出または連続抽出

設置に当たって、サービステクニシャンが、下記の抽出オプションのいずれかが利用できるように装置の設定を行っています。

・ 一杯分の抽出

飲み物キーを一回だけ押します（図13）。

一杯分抽出したあと、自動的に装置が止まります。一杯の各分量については、サービステクニシャンによるプログラミングが可能です。



注意

使用するカップやポットが抽出される飲み物の分量に対して小さすぎたため、熱い飲み物があふれ出て熱湯傷を引き起こす危険性がある場合は、ストップキーを押してください。

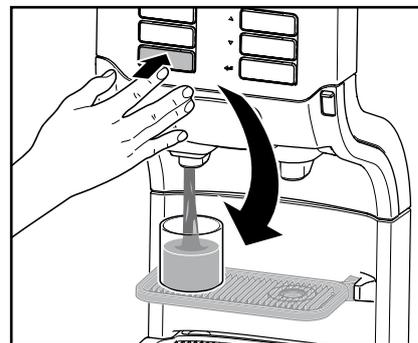


図14

・ 連続抽出

カップまたはポットが満たされるまで、抽出キーを押し続けます（図14）。抽出キーを放すと、抽出が止まります。



注記

顧客が装置の操作に慣れてないようなセルフサービスエリアでは、予め指定してあるカップサイズ分量の抽出をお勧めします。

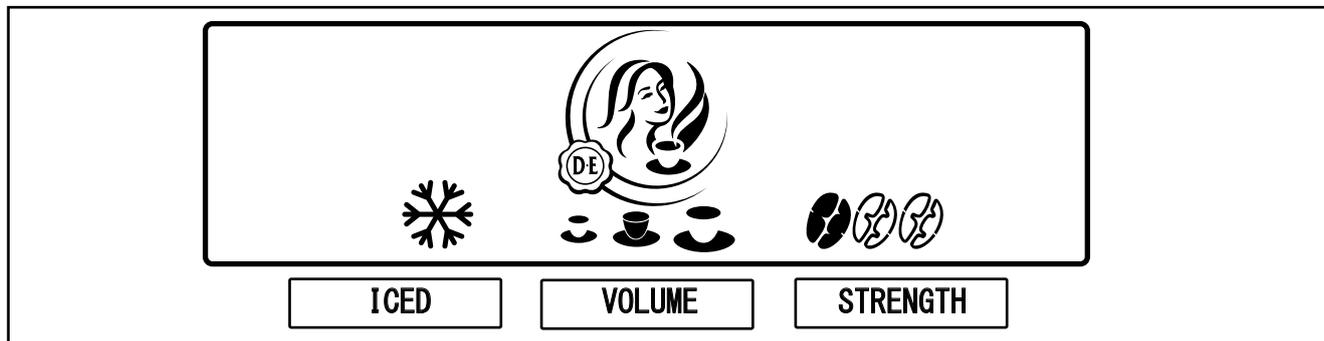


図15

予備選択による飲み物の抽出

お客様の装置には予備選択機能が付いています。設置の際、場合によっては、サービステクニシャンがこれらの予備選択機能を利用できるようにしてあります。予備選択キーを選択すると、下記の予備選択項目がディスプレイに表示されます(図15)。

- ・ 「ICED (冷飲料)」 の予備選択 (オプション)
- ・ 「VOLUME (分量)」 の予備選択 (小 - 中 - 大)
- ・ 「DRINK STRENGTH (飲み物の濃さ)」 の予備選択 (薄い - 普通 - 濃い)

「ICED (冷飲料)」 の予備選択 (オプション)

1. カップをカッププレートに置いてください。
2. 予備選択キー「ICED (冷飲料)」を押して、この予備選択を使用できるようにしてください。冷飲料のシンボルが表示されます。(図15)
3. 抽出キーを一つ押してください。冷たい飲み物が抽出されます。
4. この予備選択機能を終了するには、ストップキーを押してください。

「VOLUME (分量)」 の予備選択

1. カップをカッププレートに置いてください。
2. 予備選択キー「VOLUME (分量)」を押して、この予備選択を使用できるようにしてください。3個のカップシンボル (小 - 中 - 大) が表示されます。(図15)
3. 希望する分量のカップが黒くマークされるまで、予備選択キーを繰り返し押ししてください。選択順序は循環します。
4. 飲み物キーを一つ押してください。選択された分量の飲み物が出てきます。
5. この予備選択機能を終了するには、ストップキーを押してください。

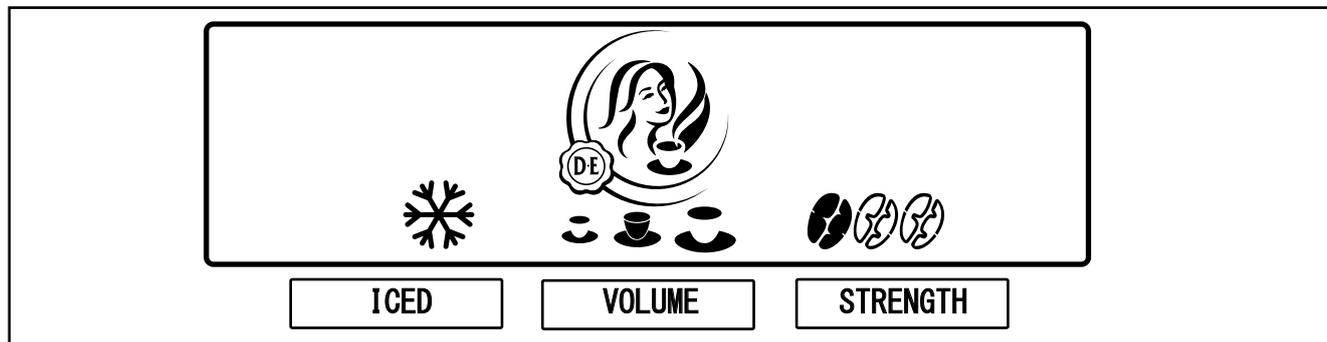


図16

「DRINK STRENGTH（飲み物の濃さ）」の予備選択

1. カップをカッププレートに置いてください。
2. 予備選択キー「STRENGTH（濃さ）」を押して、この予備選択を使用できるようにしてください。3個の豆のシンボルが表示されます。（図16）
3. 希望する飲み物の濃さが黒くマークされるまで、予備選択キーを繰り返し押し続けてください。選択順序は循環します。（豆1個 = 薄い、豆2個 = 普通、豆3個 = 濃い）
4. 飲み物キーを一つ押してください。選択された濃さの飲み物が出てきます。
5. 元の設定に戻すには、ストップキーを押してください。



注記

すべての予備選択キーは、互いに組み合わせることができます。



警告

**装置から出る液体は熱くなっています！
熱湯傷を起こさないよう注意してください！
手やそのほかの身体部位を装置から遠ざけてください。**



注記

予備選択キーに触れたけれども抽出キーを押さない場合、装置は数秒後に元の状態に戻ります。

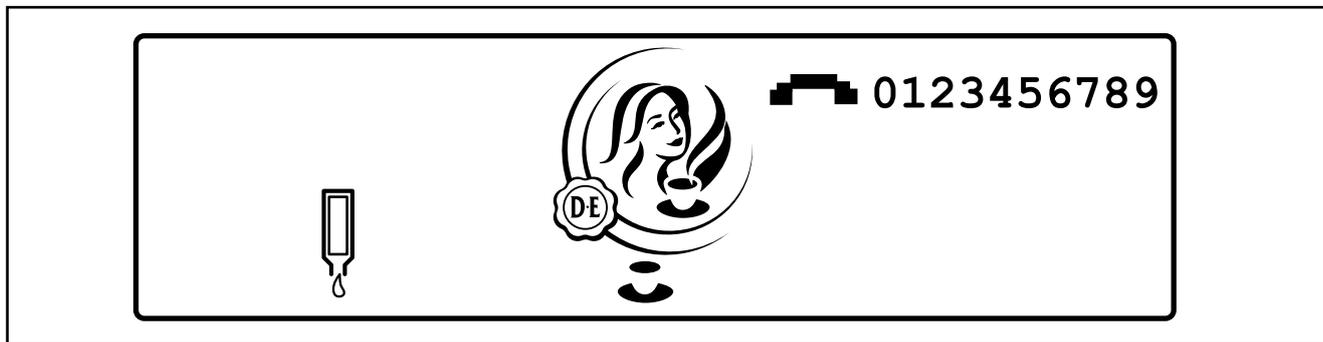


図17

製品パックのセットと交換

空の製品パックの感知

ある飲み物を選択しても、それに必要な製品パックが空になっていると、飲み物は出てきません。空の製品パックのシンボルがディスプレイに表示されます。(図17)

その後もお湯や冷水の抽出は可能です。

操作者メニュー《TELEPHONE # (電話番号)》で《SHOW OPERATOR NR: (操作者の電話番号表示)》の設定が《Y (はい)》になっていると、入力されている電話番号がディスプレイに表示されます。(図17)

下記のテキストがメッセージ欄に流れます。

COFFEE NOT AVAILABLE
(コーヒーがありません)
☎ 123456789

必要に応じて操作者に電話してください。



注記

操作者メニューを介し、電話番号をご自分で入力できます(「装置のプログラミング」参照)。

I 4 装置の操作

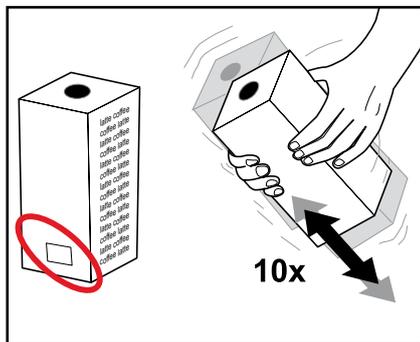


図18

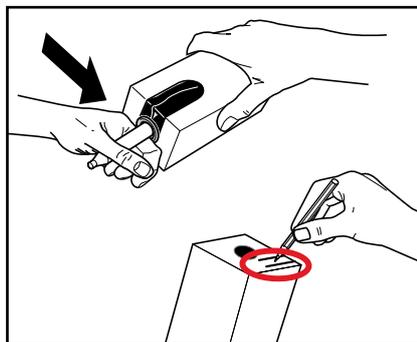


図19

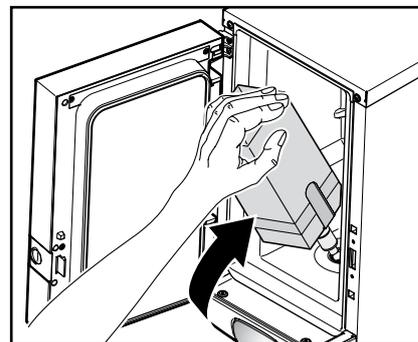


図20

空の製品パックの交換

! 注意
新しい製品パックに交換する前に、「食品安全のための注意事項 (HACCP)」の項に記載されている説明に従ってください。

1. 製品パックを手取る前に、手を洗ってください。
2. 凍っている製品パックを使用しないでください。

! 注意
製品パックに記載されている説明を読んでください。製品パックが損傷している時は、使用しないでください。賞味期限が過ぎている製品パックは使用しないでください。(図18)

3. 製品パックを最低10回は振ってください。(図18)
4. プラスチックラップを取り除き、消費期限を製品パックに記入してください。(図19)

5. 製品パックに記載されている指示に従って、計量装置を開けてください。(図19)
6. 装置の扉を開けてください。
7. 製品パックをセットしてください。(図20)
8. 装置の扉を閉じてください。
9. 試験飲料を一杯抽出してください。

装置のスイッチを入れる



注意

装置が給水源に接続されていることを確認してください。

1. 水栓を開けてください。
2. 電源プラグを差し込んでください。

ボイラーのヒーターが入り、冷蔵室の冷却が始まります。ボイラー内の水が正しい温度に到達するまで、飲み物の抽出は停止されたままになります。

ディスプレイに温度計が点滅し、「抽出停止」のシンボルが表示されます。



注記

装置のタイプ（「技術仕様」参照）と周囲温度にもよりますが、ボイラーの加熱は30～120分かかります。冷蔵室の冷却は、24時間またはそれ以上かかります。



注記

装置を長期間使用されてなかった場合は、日付と時刻を新たに設定し、装置とプログラミングされた清掃間隔を利用できるようにする必要があります。

水温が予め設定されている温度に達したら、ディスプレイに下図の動画シンボルが表示されます。装置はこれで操作準備が完了しました。



装置のスイッチを切る

1. 製品パックを取り出して、記入されている消費期限を確認してください。

- ・ 製品パックは、次に装置のスイッチを入れるまで、冷蔵庫で保管してください。
- ・ 消費期限が切れていたら、製品パックを廃棄処理してください。



警告

製品パックは冷凍しないでください。

2. 装置の清掃と洗浄をしてください。
3. コンセントから電源プラグを抜いてください。
4. 水栓を閉めてください。

I 4 装置の操作

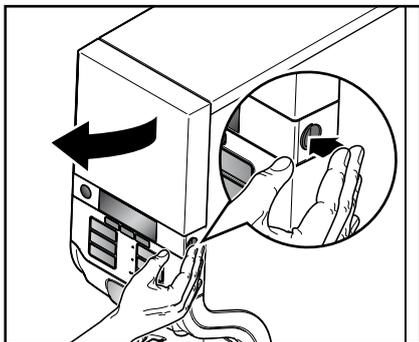


図21

装置のロック/ロック解除

1. 装置の扉を開けてください (図21)。
2. 飲み物の抽出を停止するためには、ロック/クリア・エラー・スイッチを押してください。(図22)

ディスプレイに抽出ロックのシンボルが現れます。



飲み物の抽出は止められます。冷蔵庫の冷却とボイラーのヒーターはその後も入った状態になっています。

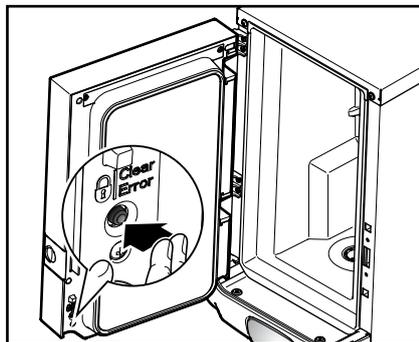


図22

3. 再び飲み物を抽出できるようにするためには、ロック/クリア・エラー・スイッチを押して、装置のロックを解除してください (図22)。

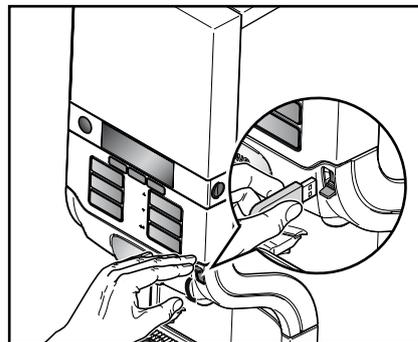


図23

ロックモードでの飲み物の抽出 (オプション)

- ・ 一時的に飲み物を抽出できるようにするために、USBロック解除キーを装置のUSB接続部に差し込んでください。(図23)

USBロック解除キーがUSB接続部に差し込まれている間は、飲み物を抽出できます。キーを抜くと、再びロックモードに戻り、ディスプレイにロックのシンボルが表示されます。

5 装置の清掃

清掃工程

装置を定期的に清掃されることをお勧めします。二種類の清掃工程あります。

- ・ 冷蔵室と飲み物抽出部の「清掃&洗浄」

注意
「清掃&洗浄」工程を週に一回実施されることをお勧めします。

- ・ 飲み物抽出部の「洗浄」

清掃&洗浄

装置にタイマーが組み込まれていて、少なくとも週に一回「清掃&洗浄」をするよう求めます。

お客様のニーズに応じて、サービステクニシャンがこのタイマーを機能させたり、使用しないように設定できます。

タイマーが機能しているときは、

- ・ 操作者メニュー<CLEANING DAYS (清掃日)>で「清掃&洗浄」または「洗浄」を実施する曜日をご自分で選択したり選択解除することができます。
- ・ 必要に応じて、最大7日の曜日に清掃工程の一つを振り分けられます。

清掃が必要になるのはいつ？

- ・ 清掃日が到来したことがディスプレイに表示されると、装置の清掃する必要があります。

ディスプレイに「清掃」のシンボルが現われます。



清掃期限が過ぎてしまうのはいつ？

24時間以内に装置の清掃をしないと、飲み物の抽出が停止します。ディスプレイに「抽出停止」のシンボルが現われます。



清掃プログラムを開始してください（次項参照）。

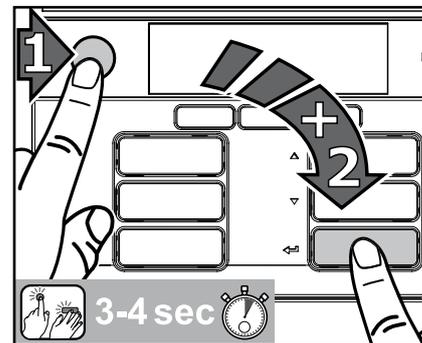


図24

「清掃&洗浄」の開始

1. まずストップキーを押し、次にエンターキー ◀ を押し、両方のキーを同時に3~4秒間押し続け、清掃モードに入ってください（図24）。

ディスプレイ上の指示に従ってください。

**PLEASE REMOVE PRODUCT PACK
(製品パックを取り出してください)**

2. 装置の扉を開けてください。
3. 製品パックを取り出してください。

I 5 装置の清掃

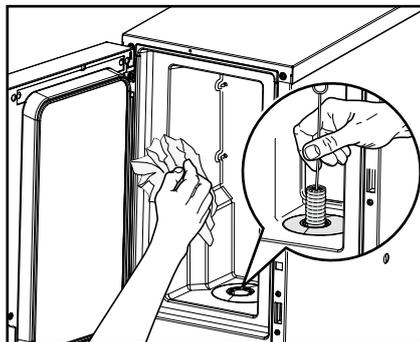


図25

ディスプレイに次のメッセージが現われます。

**PLEASE CLEAN THE COOLING INTERIOR
AND PUT BACK THE PRODUCT PACK**
(冷蔵室の内部を清掃し、製品パック
をセットしてください)

! 注意
洗浄剤を使い、パック内容に接触するあらゆる装置パーツを洗浄してください。食品業界とCafitesseシステム販売店が推奨する洗浄剤を使用してください。洗浄剤を安全に取り扱い、計量、使用するために、洗浄剤のラベルに記載されている指示に従ってください。

- 清潔な湿らせた布で冷蔵室の内部を拭き、計量穴をブラシで掃除してください。(図25)
 - まず、洗浄剤に浸したブラシで冷蔵室の計量穴を掃除してください。
 - 清潔な使い捨ての布で計量穴をしっかり拭いて、乾かしてください。
 - 次に、湿らせ、洗浄剤に浸した布で冷蔵室を隅々までていねいに拭いてください。
 - 引き続き、清潔な使い捨ての布で冷蔵室をしっかり拭いて、乾かしてください。
- 製品パックをセットしてください。
- 装置の扉を閉じてください。

ディスプレイに次のメッセージが現われます。

PLEASE PLACE FLUSH BIN
(min. 4 L). **PRESS ← FOR OK**
(液受け容器 (4 L以上) を置き、確認のために ← を押してください)

- 液受け容器を両方の飲み物抽出部の下に置き、エンターキー ← を押ししてください。

! 警告
装置から出る液体は熱くなっています！
熱湯傷を起こさないよう注意してください！
手やそのほかの身体部位を装置から遠ざけてください。

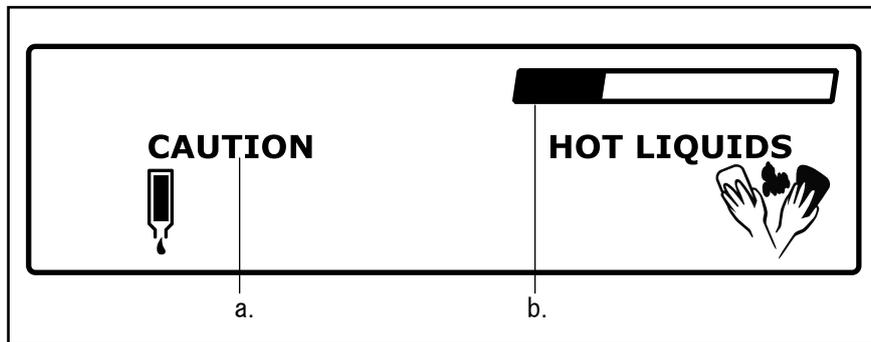


図26

ディスプレイに次のメッセージが現われます。

PRESS ◀ TO FLUSH
(◀ を押して洗浄してください)

8. エンターキー ◀, を押して、洗浄工程を開始してください。

洗浄工程が始まります。(図26)

- a. 「注意」のシンボル
b. 洗浄工程の進行状況が左から右へとプログレスバーに表示されます。

洗浄工程が終了すると、装置は再び使用できる状態になります。

洗浄

必要に応じて、操作者メニュー《CLEANING DAYS (清掃日)》で、洗浄工程の曜日を任意に設定できます。この場合、ディスプレイの設定された曜日に「清掃」シンボルが現れ、洗浄工程を開始することができます。「洗浄」工程はいつでも実施できます。

洗浄工程の開始

1. まずストップキーを押し、次にエンターキー ◀ を押し、両方のキーを同時に3~4秒間押し続け、清掃モードに入ってください。

ディスプレイ上の指示に従ってください(22ページも参照)。

PLEASE PLACE FLUSH BIN
(min. 4 L). **PRESS ◀ FOR OK**
(液受け容器 (4 L以上) を置き、確認のために ◀ を押してください)

2. 両方の飲み物抽出部の下に液受け容器を置き、エンターキー ◀ を押してください。



警告

装置から出る液体は熱くなっています！
熱湯傷を起こさないよう注意してください！
手やそのほかの身体部位を装置から遠ざけてください。

ディスプレイに次のメッセージが現われます。

PRESS ◀ TO FLUSH
(◀ を押して洗浄してください)

3. エンターキー ◀, を押して、洗浄工程を開始してください。

I 5 装置の清掃

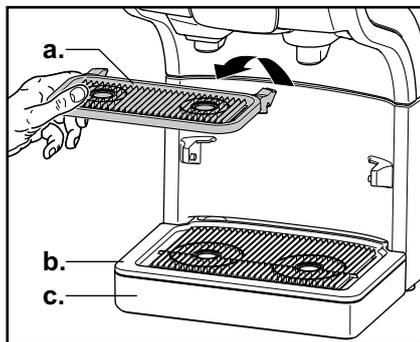


図27

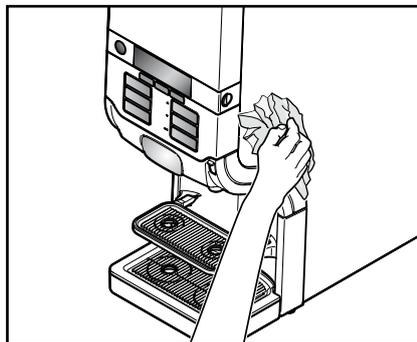


図28

装置の外部パーツの手作業による日々の清掃

1. 装置の扉を開け、ロック/クリア・エラー・スイッチを押して、飲み物の抽出を停止してください。

注記
これにより、装置の外部パーツを清掃している間、不注意により熱い飲み物が抽出されるのを防ぎます。

2. カッププレート (a.)、ドリッププレート (b.)、ドリップトレイ (c.) を取り外してください。(図27)

3. ドリップトレイを空けてください。

注記
ドリップトレイは定期的に点検し、空けてください。

4. 湿らせた清潔な布で、装置の外部パーツを拭き、真水ですすいでください。
5. カッププレート、ドリッププレート、ドリップトレイを再び取り付けてください。
6. 湿らせた清潔な布で、装置の外면을拭いてください (図28)。

注記
食器洗い機で洗うこともできます。

注記
洗剤のパッケージに記載されている安全使用上の注意事項と使用説明を守ってください。

6 装置のプログラミング

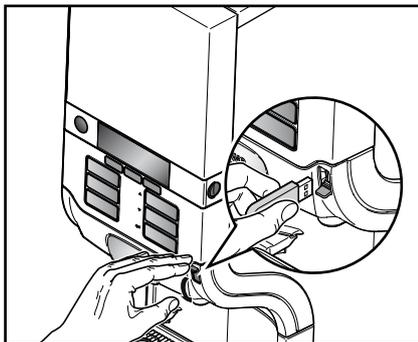


図29

操作者モードの開始

- ・ 付属されているUSBキーを装置のUSB接続部に差し込んでください。(図29)

直ちに一連の機能を含む操作者モードに入ります。

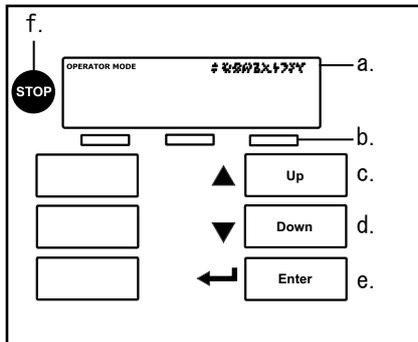


図30

操作者モードでの操作 (図30)

- ディスプレイ
- 3個の予備選択キー
- 「上向き」矢印キー ▲ - リスト内で上向きにナビ、または、入力値を上げる
- 「下向き」矢印キー ▼ - リスト内で下向きにナビ、または、入力値を下げる
- エンターキー ← - 入力を有効にしたり確定する
- ストップキー - ナビを戻す、または、2秒間押さえてスタートメニューを呼び出す。

- ◆ COUNTERS
- ◆ RESETTABLE COUNTERS
- ◆ RESET COUNTERS?
- ◆ VOLUME
- ◆ STRENGTH
- ◆ DATE / TIME
- ◆ CLEANING DAYS
- ◆ ECO SETTING
- ◆ TELEPHONE #

図31

メニューナビゲーション

オペレータは次の9つのメニューを使用できます (図xx) :

- ・ COUNTERS (カウンタ) -
カウンタを読む
- ・ RESETTABLE COUNTERS -
リセット可能なカウンタのレベルを読み取ります
- ・ RESET COUNTERS? -
リセット可能なカウンタをゼロに設定します
- ・ VOLUME (分量) -
一杯の分量を変更
- ・ STRENGTH (濃さ) -
飲み物の濃さを変更
- ・ DATE / TIME (日付 / 時刻) -
日付と時刻を設定

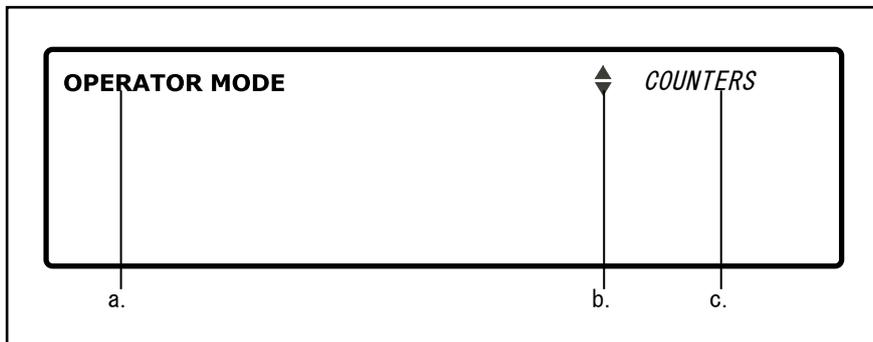


図32

- ・ CLEANING DAYS (清掃日) -
清掃・洗浄工程を実施する曜日を設定
- ・ ECO SETTING (エコ設定) -
エネルギー消費を最適化
- ・ TELEPHONE # (電話番号) -
操作者/サービスの電話番号の表示/非表示と設定

◆ **注記**
特定のオペレータメニューアイテムは、サービステクニシャンが使えないようにしていますか、お使いの装置では利用できない場合があります。詳細またはメニューの更新については、Cafitesseシステムサプライヤーまでお問い合わせください。

操作者モードに入ると、まず、メッセージ欄にメインメニュー《COUNTERS (カウンタ)》が表示されます。(図32)

- a. 操作者モードが有効になっています。
- b. 矢印キー ▼▲ を使って、リスト内のほかのメニューを表示させることができます。
- c. 現在有効なメニューを表示。
エンターキー ◀ を押して、メニューを呼び出してください。

メニューを呼び出したら、ディスプレイ上のメッセージが次のステップを表示します。

◆ **注記**
テキストが長すぎる場合、テキストはメッセージ欄を左から右へ流れます。

- ◆ **COUNTERS** ←
- ◆ **RESETTABLE COUNTERS** ←
- ◆ **RESET COUNTERS?**
- ◆ **VOLUME**
- ◆ **STRENGTH**
- ◆ **DATE/TIME**
- ◆ **CLEANING DAYS**
- ◆ **ECO SETTING**
- ◆ **TELEPHONE #**

図33

カウンタの読み取り/リセット可能なカウンタの読み取り

《COUNTERS (カウンタ)》メニューおよび《RESETTABLE COUNTERS (リセット可能なカウンタ)》メニューでは、以下の例のように飲み物カウンタをさまざまな方法でご利用になれます。

- ・ 飲み物の合計数またはリセット可能な合計数
- ・ 飲み物キー毎の合計
- ・ 飲み物キー毎の「VOLUME (分量)」と「ICED (冷飲料)」の小計
- ・ すべての冷たい飲み物と熱い飲み物のそれぞれの合計

《COUNTERS (カウンタ)》メニューおよび《RESETTABLE COUNTERS (リセット可能なカウンタ)》メニューの機能は、

どちらもこの章で説明されている内容と同じです。

お客様のニーズに応じて、《RESETTABLE COUNTERS (リセット可能なカウンタ)》メニューで表示される合計と小計をゼロに戻るように設定することができます。

《RESET COUNTERS? (カウンタをリセットしますか?)》を参照してください

飲み物の合計数またはリセット可能な合計数

- ・ オペレータモードでは、エンターボタン ← を押して《COUNTERS (カウンタ)》メニューまたは《RESETTABLE COUNTERS (リセット可能なカウンタ)》メニュー (図xx) にアクセスします。

ディスプレイにすべての抽出された飲み物の合計が表示されます。

TOTAL DRINKS (飲み物の合計)

1234567

または飲み物のリセット可能な合計数

RESETTABLE TOTAL DRINKS (リセット可能な飲み物合計)

1234567

SELECT DRINK (飲み物を選択)

より詳しい内容のカウンタ数は、

- ・ たとえば「コーヒー」など、ある飲み物キーを押して、その飲み物キー

のカウンタ数を表示させることができます。

- ・ たとえば「VOLUME (分量)」など、予備選択キーを一つ押して、すべての飲み物の小、中、大のカウンタ数を表示させることができます。

飲み物キー毎の合計

- ・ 《COUNTERS (カウンタ)》メニューまたは《RESETTABLE COUNTERS (リセット可能なカウンタ)》メニューで、コーヒーなどの飲み物ボタンを押します。

たとえば「コーヒー」など、選択された飲み物キーにより抽出された飲み物の数がディスプレイに現れます。

COFFEE (コーヒー)

543210

ここで以下の項目が実施できます。

- ・ ストップボタンは、《COUNTERS (カウンタ)》メニューまたは《RESETTABLE COUNTERS (リセット可能なカウンタ)》メニューの上のレベルに戻ります。
- ・ ほかの飲み物キーを押して、そのキーのカウンタ数を表示させる。
- ・ 予備選択キー (「VOLUME (分量)」または「ICED (冷飲料)」) を一つ押し、たとえば、分量「大」の抽出数など、下位のカウンタ数を表示させる。

Ⅰ 6 装置のプログラミング

飲み物キー毎の「VOLUME (分量)」と「ICED (冷飲料)」の小計

1. 《COUNTERS (カウンタ)》メニューまたは《RESETTABLE COUNTERS (リセット可能なカウンタ)》メニューで、コーヒーなどの飲み物ボタンを押します。

たとえば「コーヒー」など、選択された飲み物キーにより抽出された飲み物の数がディスプレイに現れます。

| |
|-------------------------|
| COFFEE (コーヒー) 543210 |
|-------------------------|

2. 予備選択キー「VOLUME (分量)」を押してください。

たとえば「小コーヒー」など、「小」の飲み物のカップシンボルとカウンタ数がディスプレイに現れます。

| |
|--|
|    COFFEE (コーヒー) 87654 |
|--|

-  **注記**
続けて予備選択キー「VOLUME (分量)」を押すと、ディスプレイに飲み物の分量、中、大、合計、小の順で、カウンタ数が表示されます。

3. 予備選択キー「ICED (冷飲料)」を押してください (オプション「冷たい飲み物」が設置されている場合のみ)。

「ICED (冷飲料)」のシンボルと、たとえば「冷たい小コーヒー」など、「冷たい、小」分量の飲み物のカウンタ数がディスプレイに現れます。

| |
|--|
|     COFFEE (コーヒー) 23456 |
|--|

-  **注記**
続けて予備選択キー「ICED (冷飲料)」を押すと、予備選択されている分量との組み合わせで、熱い飲み物、合計、冷たい飲み物の順で、ディスプレイにカウンタ数が表示されます。

または以下の項目が実施できます。

- ・ ストップボタンは、《COUNTERS (カウンタ)》メニューまたは《RESETTABLE COUNTERS (リセット可能なカウンタ)》メニューの上のレベルに戻ります。
- ・ ほかの飲み物キーを押して、そのキーのカウンタ数を表示させる。

熱い飲み物と冷たい飲み物の合計

(オプション「冷たい飲み物」が設置されている場合のみ)

1. 《COUNTERS (カウンタ)》メニューまたは《RESETTABLE COUNTERS (リセット可能なカウンタ)》メニューで、「ICED (アイス)」などの事前選択ボタンを押します。

「ICED (冷飲料)」のシンボルと、すべての冷たい飲み物の合計カウンタ数がディスプレイに現れます。

| |
|--|
|  TOTAL (合計) 789012 |
|--|

2. 予備選択キー「ICED (冷飲料)」をもう一度押してください。

「ホット」のシンボルと、すべての熱い飲み物の合計カウンタ数がディスプレイに現れます。

| |
|--|
|  TOTAL (合計) 345678 |
|--|

3. 予備選択キー「ICED (冷飲料)」をもう一度押すと、すべての飲み物の合計カウンタ数に戻ります。

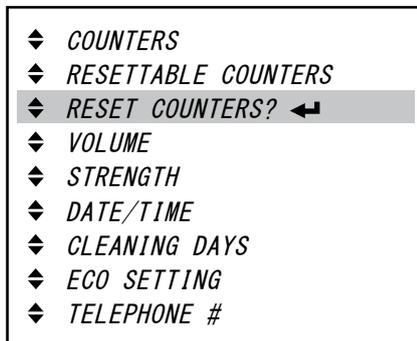


図34

リセット可能なカウンタをゼロに設定

《RESET COUNTERS? (カウンタをリセットしますか?)》メニューで、すべてのリセット可能なカウンタの合計と小計をゼロに設定できます。

- ・ オペレータモードで、エンターボタン を押して《RESET COUNTERS? (カウンタをリセットしますか?)》 (図xx) にアクセスします。

ディスプレイのメッセージでは、次のように指示されます：

PRESS TO RESET COUNTERS
 (を押してカウンタをリセットする。)

これで、次のいずれかを選択して押します：

- ・ ストップボタンは、現在のリセット可能カウンタの値を保持してオペレータメニューの上のレベルに戻る。
- ・ エンターボタン を押して、一回ですべてのリセット可能なカウンタの読み取りをゼロに設定する。

ディスプレイにすべてのカウンタがリセットされたことが確認されます。

COUNTERS ARE RESET.
 (カウンタがリセットされます。)

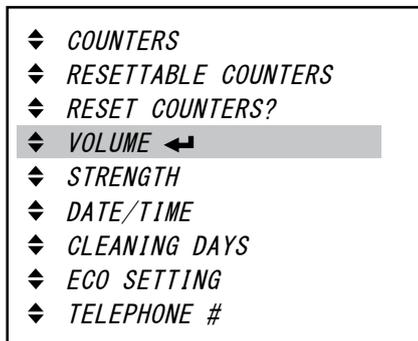


図35

一杯の分量の変更

メニュー《VOLUME (分量)》で、抽出できるすべての飲み物の一杯の分量を、同時に最大10 %増加または減少することができます。

1. エンターキー ◀ を押し、《VOLUME (分量)》を呼び出して、ください (図35)。

ディスプレイに次のメッセージが現われます。



2. 矢印キーを使って、一杯の分量を増加 ▲ または減少 ▼ させてください。
3. エンターキー ◀ を押して、希望する値を確定してください。新しい一杯の分量が直ちに有効になります。



注記

飲み物の一杯の分量を改めて変更したい場合、エンターキー ◀ を押し、次に増加 ▲ または減少 ▼ を押してください。

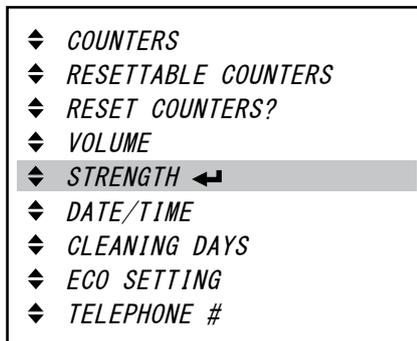


図36

飲み物の濃さの変更

メニュー《STRENGTH (濃さ)》で、抽出できるすべての飲み物を、同時に最大10%濃く、または薄くすることができます。

1. エンターキー ◀ を押して、《STRENGTH (濃さ)》を呼び出してください。(図36)

ディスプレイに次のメッセージが現われます。



2. 矢印キーを使って、飲み物を濃く ▲、または薄く ▼ してください。
3. エンターキー ◀ を押して、希望する値を確定してください。
新しい飲み物の濃さが直ちに有効になります。



注記

飲み物の濃さを改めて変更したい場合、エンターキー ◀ を押し、次に濃く ▲、または薄く ▼ してください。

- ◆ COUNTERS
- ◆ RESETTABLE COUNTERS
- ◆ RESET COUNTERS?
- ◆ VOLUME
- ◆ STRENGTH
- ◆ DATE/TIME ◀
- ◆ CLEANING DAYS
- ◆ ECO SETTING
- ◆ TELEPHONE #

図37

日付と時刻の設定

メニュー《DATE / TIME (日付 / 時刻)》で、月/日/年の日付と時刻が設定できます。(時刻は、サマータイムの始まりと終わりなどに設定し直す必要があります)。

注記
 装置を長期間使用されてなかった場合は、日付と時刻を新たに設定し、装置とプログラミングされた清掃間隔を利用できるようにする必要があります。

1. エンターキー ◀ を押して、《DATE / TIME (日付 / 時刻)》を呼び出してください。(図37)

日付と時刻の設定がディスプレイに表示されます。オプション「月」が変更可能な状態になり、点滅します。

JUN 29 2007 (2007年6月29日)
 10:10

2. 矢印キー ▼▲ を使い、正しい月 (JAN~DEC) を選択してください。
3. エンターキー ◀ を押して、確定してください。

オプション「月」が点灯し、オプション「日」が点滅します。

JUL **29** 2007 (2007年7月29日)
 10:10

4. 矢印キー ▼▲ を使い、正しい日 (1~31) を選択してください。
5. エンターキー ◀ を押して、確定してください。

オプション「日」が点灯し、オプション「年」が点滅します。

JUL 06 **2007** (2007年7月6日)
 10:10

6. 矢印キー ▼▲ を使い、正しい年を選択してください。
7. エンターキー ◀ を押して、確定してください。

オプション「年」が点灯し、オプション「時」が点滅します。

JUL 06 2009 (2009年7月6日)
 10:10

8. 矢印キー ▼▲ を使い、正しい時刻/時を選択してください。
9. エンターキー ◀ を押して、確定してください。

オプション「時」が点灯し、オプション「分」が点滅します。

JUL 06 2009 (2009年7月6日)
 13:10

10. 矢印キー ▼▲ を使い、正しい時刻/分を選択してください。
11. エンターキー ◀ を押して、確定してください。

しばらくすると、日付と時刻の設定がディスプレイに点灯した状態で表示されます。

JUL 06 2009 (2009年7月6日)
 13:48

- ◆ COUNTERS
- ◆ RESETTABLE COUNTERS
- ◆ RESET COUNTERS?
- ◆ VOLUME
- ◆ STRENGTH
- ◆ DATE/TIME
- ◆ **CLEANING DAYS ◀▶**
- ◆ ECO SETTING
- ◆ TELEPHONE #

図38

清掃日の設定

装置を少なくとも週一回清掃されることをお勧めします。メニュー《CLEANING DAYS (清掃日)》で、何曜日に装置を清掃または洗浄するか、設定できます。洗浄の設定は任意に行えます。メニュー《CLEANING DAYS (清掃日)》で、矢印キー ▼▲ を使い、合わせて2つのサブメニューを選択することができます。

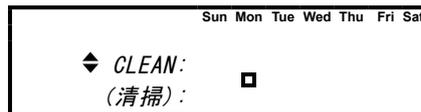
- ・ 《CLEAN (清掃)》
- ・ 《FLUSH (洗浄)》
- ・ エンターキー ◀▶ を押して、《CLEANING DAYS (清掃日)》を呼び出して下さい (図38)。

「CLEAN (清掃)」日の設定

1. 矢印キー ▼▲ を使い、サブメニュー《CLEAN (清掃)》を選択してください。

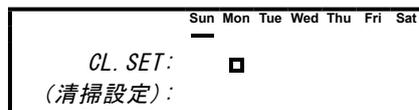
ディスプレイの現在有効な清掃曜日の下に現状シンボル が表示されます。

ほかの曜日を清掃日に選択しない場合には、初期設定の月曜日が有効です。



2. エンターキー ◀▶ を押して、サブメニュー《CLEAN (清掃)》を呼び出してください。

カーソルシンボル が、「Sun」(日曜日)の下に表示されます。



3. 矢印キー ▼▲ で、カーソルシンボル を清掃する曜日の下に動かしてください。
4. エンターキー ◀▶ を押して、選択した清掃日を確定してください。

清掃シンボル は、選択した曜日の下に表示されるようになります。

◆ 注記
順々に複数の清掃日を設定することができます。

5. ご希望に応じて、別の曜日を一日選び、3. と4. のステップを繰り返してください。

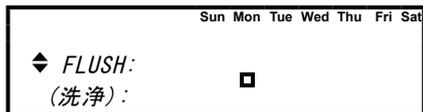
◆ 注記
清掃工程のための曜日の設定は任意です。選択した清掃日を解除するには、カーソルシンボル を解除したい曜日の下に動かして、エンターキー ◀▶ 改めて押してください。

I 6 装置のプログラミング

「FLUSH（洗浄）」日の設定

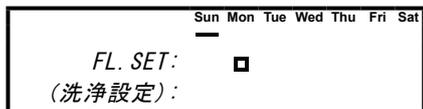
1. 矢印キー ▼▲ を使い、サブメニュー《FLUSH（洗浄）》を選択してください。

ディスプレイに、現在有効な洗浄工程実施曜日の下に現状シンボル □ が表示されます。ほかの曜日を洗浄工程実施日に選択しない場合には、初期設定の月曜日が有効です。



2. エンターキー ◀ を押して、サブメニュー《FLUSH（洗浄）》を呼び出してください。

カーソルシンボル _ が、「Sun」（日曜日）の下に表示されます。



3. 矢印キー ▼▲ で、カーソルシンボル _ を洗浄する曜日の下に動かしてください。
4. エンターキー ◀ を押して、選択した洗浄日を確定してください。

現状シンボル □ が、選択した曜日の下に表示されます。



注記

順々に複数の洗浄日を設定することができます。

5. ご希望に応じて、別の曜日を一日選び、3. と4. のステップを繰り返してください。



注記

洗浄工程のための曜日の設定は任意です。

選択した洗浄日を解除するには、カーソルシンボル _ を解除したい曜日の下に動かして、エンターキー ◀ 改めて押してください。

- ◆ COUNTERS
- ◆ RESETTABLE COUNTERS
- ◆ RESET COUNTERS?
- ◆ VOLUME
- ◆ STRENGTH
- ◆ DATE/TIME
- ◆ CLEANING DAYS
- ◆ ECO SETTING ◀
- ◆ TELEPHONE #

図39

エコ設定

メニュー《ECO SETTING (エコ設定)》で、装置のエネルギー消費を最適化することができます。ボイラー温度を下げることができますが、この設定は、装置を使用しないとき(夜間など)にのみ、有効になります。メニュー《ECO SETTING (エコ設定)》では、矢印キー ▼▲ を使い、4つのサブメニューを選択することができます。

- ・ 《ECO ENABLED/DISABLED (エコ使用/不使用)》
- ・ 《ECO START (エコ開始)》
- ・ 《ECO END (エコ終了)》
- ・ 《ECO TEMPERATURE (エコ温度)》

- ・ エンターキー ◀, を押して、《ECO SETTING (エコ設定)》を呼び出してください(図39)。

省エネモード(エコ)の使用、不使用

「ENABLED/DISABLED (使用/不使用)」の現在の状態が、たとえば下図のようにディスプレイに表示されます。:

ECO DISABLED (エコ不使用)

1. エンターキー ◀ を押して、サブメニュー《ECO ENABLED/DISABLED (エコ使用/不使用)》を呼び出してください。

ディスプレイの「ENABLED/DISABLED (使用/不使用)」の現在の状態が点滅します。

*ECO **DISABLED** (エコ不使用)*

2. 矢印キー ▼▲ を使い、「ENABLED (使用)」または「DISABLED (不使用)」を選択してください。
3. エンターキー ◀ を押して、選択を確定してください。

*ECO **ENABLED** (エコ使用)*

4. ストップキーを押して、メインメニューに戻ってください。

「ECO START (エコ開始)」時刻の設定(状態「ECO ENABLED (エコ使用)」)

1. 矢印キー ▼▲ を使い、サブメニュー《ECO START (エコ開始)》を選択してください。

「ECO START (エコ開始)」時刻がディスプレイに表示されます。

2. エンターキー ◀ を押して、サブメニュー《ECO START (エコ開始)》を呼び出してください。オプション「時」が点滅し、変更可能になります。

*ECO START (エコ開始) **21:15***

3. 矢印キー ▼▲ を使い、希望する時刻(時)を設定してください。
4. 確定するために、エンターキー ◀ を押してください。オプション「分」が点滅し、変更可能になります。

*ECO START (エコ開始) **22:15***

5. 矢印キー ▼▲ を使い、希望する時刻(分)を設定してください。
 6. 確定するために、エンターキー ◀ を押してください。新しい時刻が点灯した状態で表示されます。
- ・ 設定をし直したいときは、再びエンターキー ◀ を押してください。

I 6 装置のプログラミング

ECO END (エコ終了) 時刻の設定 (状態《ECO ENABLED (エコ使用)》)

1. 矢印キー ▼▲ を使い、サブメニュー《ECO END (エコ終了)》を選択してください。

ECO END (エコ終了) 時刻がディスプレイに表示されます。

2. エンターキー ◀ を押して、サブメニュー《ECO END (エコ終了)》を呼び出してください。

オプション「時」が点滅し、変更可能になります。

ECO END (エコ終了)
05:55

3. 矢印キー ▼▲ を使い、希望する時刻(時)を設定してください。
4. 確定するために、エンターキー ◀ を押してください。

オプション「分」が点滅し、変更可能になります。

ECO END (エコ終了)
06:55

5. 矢印キー ▼▲ を使い、希望する時刻(分)を設定してください。
6. 確定するために、エンターキー ◀ を押してください。

新しい時刻が点灯した状態で表示されます。

- ・ 設定をし直したいときは、再びエンターキー ◀ を押してください。

ECO TEMPERATURE (エコ温度) の設定 (状態《ECO ENABLED (エコ使用)》)

1. 矢印キー ▼▲ を使い、サブメニュー《ECO TEMP (エコ温度)》を選択してください。

ECO TEMPERATURE (エコ温度) がディスプレイに表示されます。

ECO TEMPERATURE (エコ温度)
63 °C / 145 °F

2. エンターキー ◀ を押して、サブメニュー《ECO TEMP (エコ温度)》を呼び出してください。

設定されている温度がディスプレイに表示され、点滅します。

ECO TEMPERATURE (エコ温度)
63 °C / 145 °F

3. 矢印キー ▼▲ を使い、希望する温度に設定してください。
4. エンターキー ◀ を押して、確定してください。

新しい温度が、たとえば下図のように、点灯した状態でディスプレイに表示されます。

ECO TEMPERATURE (エコ温度)
75 °C / 167 °F

- ・ 設定をし直したいときは、再びエンターキー ◀ を押してください。

 注記
省エネモードが使用されているときは、ディスプレイに《ECO (エコ)》が表示されます。

ECO (エコ)

- ◆ COUNTERS
- ◆ RESETTABLE COUNTERS
- ◆ RESET COUNTERS?
- ◆ VOLUME
- ◆ STRENGTH
- ◆ DATE/TIME
- ◆ CLEANING DAYS
- ◆ ECO SETTING
- ◆ TELEPHONE # ◀

図40

電話番号の設定

メニュー《TELEPHONE # (電話番号)》で、操作者とサービスの電話番号を入力できます。

また、電話番号をディスプレイに表示するかどうか、選択できます。表示を選択した場合、たとえば以下の状況になったら、直ちに電話番号が表示されます。

- ・ 清掃が必要になった
- ・ 製品パックが空になった
- ・ そのほかのエラーが発生した

メニュー《TELEPHONE # (電話番号)》で、矢印キー ▼▲ を使い、4つのサブメニューを選択することができます。

- ・ 《SHOW OPERATOR NR (操作者の電話番号表示)》
- ・ 《SHOW SERVICE NR (サービスの電話番号表示)》
- ・ 《OPERATOR NR (操作者の電話番号)》
- ・ 《SERVICE NR (サービスの電話番号)》
- ・ エンターキー ◀ を押して、《TELEPHONE # (電話番号)》を呼び出してください (図40)。

「OPERATOR NR (操作者の電話番号)」がディスプレイに表示されます。

OPERATOR NR:
(操作者の電話番号)
0323457

操作者の電話番号の表示と非表示

1. 矢印キー ▼▲ を使い、サブメニュー《SHOW OPERATOR NR (操作者の電話番号表示)》を選択してください。
 2. エンターキー ◀ を押して、サブメニューを呼び出してください。
- ディスプレイに「Y」(はい)または「N」(いいえ)が表示されます。「Y (はい)」または「N (いいえ)」は変更可能になり、点滅します。

SHOW OPERATOR NR: N
(操作者の電話番号表示: いいえ)

3. 矢印キー ▼▲ を使い、電話番号を表示するためには「Y (はい)」を、非表示にするためには「N (いいえ)」を選択してください。
4. エンターキー ◀ を押して、確定してください。

新しい設定が、たとえば下図のように、点灯した状態でディスプレイに表示されます。

SHOW OPERATOR NR: Y
(操作者の電話番号表示: はい)

- ・ 設定をし直したいときは、もう一度エンターキー ◀ を押してください。

I 6 装置のプログラミング

サービスの電話番号の表示と非表示

1. 矢印キー **▼▲** を使い、サブメニュー《SHOW SERVICE NR (サービスの電話番号表示)》を選択してください。
2. エンターキー **↵** を押して、サブメニューを呼び出してください。

ディスプレイに「Y」(はい)または「N」(いいえ)が表示されます。「Y (はい)」または「N (いいえ)」は変更可能になり、点滅します。

SHOW SERVICE NR: **N**
(サービスの電話番号表示: いいえ)

3. 矢印キー **▼▲** を使い、電話番号を表示するためには「Y (はい)」を、非表示にするためには「N (いいえ)」を選択してください。
4. エンターキー **↵** を押して、確定してください。

新しい設定が、たとえば下図のように、点灯した状態でディスプレイに表示されます。

SHOW SERVICE NR: **Y**
(サービスの電話番号表示: はい)

- ・ 設定をし直したいときは、もう一度エンターキー **↵** を押してください。

操作者の電話番号の入力

1. 矢印キー **▼▲** を使い、サブメニュー《OPERATOR NR (操作者の電話番号)》を選択してください。
2. エンターキー **↵** を押して、サブメニューを呼び出してください。

ディスプレイに操作者の電話番号が表示されます。最初の数字が変更可能な状態になり、点滅します。

O (操作者): **0**301234567



注記

「O」 = Operator (操作者)、
「S」 = Service (サービス)

3. 矢印キー **▼▲** を使って、最初の数字を入力してください。
4. エンターキー **↵** を押して、確定してください。

最初の数字が点灯し、2番目の数字が変更可能な状態になり、点滅します。

O (操作者): **5**01234567

5. ステップ3. と4. を繰り返し、電話番号の最後の数字まで入力してください。
 6. エンターキー **↵** を押して、電話番号を確定してください。
- ・ 設定をし直したいときは、もう一度エンターキー **↵** を押してください。

サービスの電話番号の入力

1. 矢印キー **▼▲** を使い、サブメニュー《SERVICE NR (サービスの電話番号)》を選択してください。
2. エンターキー **↵** を押して、サブメニューを呼び出してください。

ディスプレイにサービスの電話番号が表示されます。最初の数字が変更可能な状態になり、点滅します。

S (サービス): **3**18051234567



注記

「O」 = Operator (操作者)、
「S」 = Service (サービス)

3. 矢印キー **▼▲** を使って、最初の数字を入力してください。
4. エンターキー **↵** を押して、確定してください。

最初の数字が点灯し、2番目の数字が変更可能な状態になり、点滅します。

S (サービス): **0**18051234567

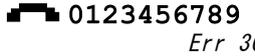
5. ステップ3. と4. を繰り返し、電話番号の最後の数字まで入力してください。
 6. エンターキー **↵** を押して、電話番号を確定してください。
- ・ 設定をし直したいときは、もう一度エンターキー **↵** を押してください。

7 ディスプレイメッセージとトラブルシューティング

| ディスプレイメッセージ | 原因 | 解決方法 |
|--|---|--|
|  0123456789    | <p>製品パックが</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空になっている ・ 正しくセットされていない ・ ない | <p>操作者の電話番号がディスプレイに表示されているときは、操作者に電話してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空の製品パックを交換してください。18ページ参照。 ・ 製品パックが正しくセットされているか点検してください。18ページ参照。 ・ 製品パックをセットしてください。 |
|  | <p>装置が適時に清掃されなかったため、飲み物の抽出が停止されている。</p> | <p>清掃プログラムを直ちに実施してください。22ページ参照。</p> |
|   PLEASE WAIT BOILER IS HEATING UP (お待ちください ボイラー加熱中) | <p>ボイラー内の水がまだ設定温度に達していない。</p> | <p>水温が設定値に達するまで、装置の飲み物の抽出は停止された状態になります。</p> |
|   | <p>装置のロック/クリア・エラー・スイッチが押されたため、飲み物の抽出が止められている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ もう一度ロック/クリア・エラー・スイッチを押して、装置のロックを解除してください。21ページ参照。 ・ 一時的に飲み物を抽出できるようにするために、USBキーを装置のUSB接続部に差し込んでください。21ページ参照。 |

I 7 ディスプレイメッセージと トラブルシューティング

| ディスプレイメッセージ | 原因 | 解決方法 |
|---|--|--|
|  0123456789   | 装置の清掃をする必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 操作者の電話番号がディスプレイに表示されているときは、操作者に電話してください。 ・ 同じ日に清掃プログラムを実施してください。22ページ参照。 |
|  ECO | 装置が省エネモードになっているため、飲み物の抽出ができない状態になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲み物キーを一つ押してください。ボイラーが加熱され、水が正しい温度に到達したら、直ちに飲み物が抽出されるようになります。お湯が沸いたあと、または最後の飲み物が抽出されたあと10分経つと、再び省エネモードに戻ります。 ・ 省エネモード終了時刻を入力している場合、このモードは自動的に終了します。35-36ページ参照。 |
|   | 装置の浄水フィルターを交換する必要がある | 浄水フィルターを交換してください。 |
|  0123456789 Err 19 | 給水系のエラー | 装置に接続されている給水管が閉塞されていないか点検し、水栓を全開にしてください。 ロック/クリア・エラー・スイッチを押してください。その後もエラー表示が消えない場合は、サービスセンターまでご連絡ください。 |

| ディスプレイメッセージ | 原因 | 解決方法 |
|--|------------------------------------|--|
|  <p>0123456789 Err 30</p> | <p>冷却エラー</p> | <p>装置の換気ファンと周囲温度を点検してください。必要に応じて、コンデンサの格子の清掃をしてください。</p> <p>ロック/クリア・エラー・スイッチを押してください。その後も問題が残る場合は、サービスセンターまでご連絡ください。</p> |
| <p>熱湯抽出部または製品抽出部から水が垂れる</p> | <p>当該抽出部のバルブに石灰粒が詰まり、完全に閉まらない。</p> | <p>清掃工程「FLUSHING」（洗浄）を実施してください。その後も問題が残る場合は、サービスセンターまでご連絡ください。</p> |
| <p>キーを押しても装置が反応しない。</p> | <p>装置のソフトウェアがハングアップした。</p> | <p>装置のリセットをします。</p> <p>電源プラグを抜き、5秒後に再び差し込んでください。その後も問題が残る場合は、サービスセンターまでご連絡ください。</p> |

8 技術仕様

| 技術仕様 | Cafitesse Quantum 110 |
|------------------|--|
| 装置バージョン | 標準バージョン：カップとポットに熱い飲み物を抽出 カフェ・クール・バージョン：カップとポットに熱い飲み物と冷たい飲み物を抽出 |
| 寸法 | |
| 高さ | 770 mm / 30.3 in |
| 幅 | 260 mm / 10.2 in |
| 奥行き | 522 mm / 20.6 in |
| 重量 | |
| 空の状態 | 31.0 kg / 68.3 lbs |
| 充填状態 | 42.0 kg / 92.6 lbs |
| カップと ポットの最大高さ | カップ：カッププレート上で使用する場合、120 mm (4.7 in) ポット：カッププレートを上倒して使用する場合、213 mm (8.4 in) ポット：ドリフトトレイなしで使用する場合、263 mm (10.4 in) エアポット：オプションのベースを利用する場合、33 cm (13.4 in) |
| 製品容量 | 使い捨てのBag-in-Box (BIB) 製品パック1個の容量： 2リットル/0.53 USgal、または 1.25 リットル/0.33 USgal (オプションのアダプタを使用してください) |
| 飲み物の容量 標準給水 | 毎時、加熱能力1kW当り、100カップ à 100 cc (3.3 fl. oz. 米国) 3/4" BSPアダプタ付き1/2" または3/8" の給水管 止水栓付き飲用水配管 最大入水温度 60 °C/140 ° F |

* 銘板を参照してください。あなたの国では、ここに記載されている装置タイプのうちタイプのみが販売されている可能性があります。

| 技術仕様 | Cafitesse Quantum 110 |
|---------------|---|
| 動水圧 | 10 l/minで最小0.8バール - 2.6 USgal/minで11 psi |
| 静水圧 | 最大10バール - 140 psi |
| ボイラー容量 | 9リットル / 2.4 USgal |
| 給湯管 | 銅管のみ使用可 |
| 水冷却装置との接続 | 動圧: 1.2 l/minで最小0.8バール - 0.7 USgal/minで11 psi |
| 冷媒 | 0.035 kg R134a |
| 電気仕様 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 電源ケーブルとプラグを使用して接続 1.80 m (70.9 in) ・ 直接電源接続 <p>接続する電気の値は定格銘板をご参照ください。</p> <p>単相運転/日本: 交流200V (10A) で最大2.0 kW 標準の装置</p> <p>単相運転/日本: 「Repowering for Cafitesse」キットの取り付け後では 交流100V(13A) で最大1.2 kW。「オプション」の章をご覧ください。</p> <p>3相運転/日本: 「Repowering 3-phases」キットの取り付け後では 3N交流200V (3x18A) で最大5.8 kW。「オプション」の章をご覧ください。</p> |
| 環境仕様 | |
| 騒音 | 装置のA特性音圧レベルは70 dB未満 |
| 設置および使用時の周囲温度 | 5° C/41° F~32° C/90° Fの間 |
| 適合性 | CE、VDEマーク、PSEマーク (2006/42/EC機械指令、2004/108/EC 電磁環境適合性 (EMC) 指令、 2002/72/EC食品安全規制) |

* 銘板を参照してください。あなたの国では、ここに記載されている装置タイプのうちタイプのみが販売されている可能性があります。メーカーは、事前に通告することなく仕様を変更する権利を留保します。

9 オプション

以下に説明される特徴とオプションは、すべての国でご利用いただけない可能性もあります。お客様のCafitesseシステム販売店にお尋ねください。

ソフトウェアオプション

サービステクニシャンが装置の専用機能を有効または無効にできますので、お問い合わせください。

たとえば、

- ・ レシピ、選択、飲み物の濃さ、一杯の分量の別の設定。
- ・ 飲み物の濃さ（薄い、普通、濃い）や一杯の分量（小、中、大）の予備選択キーを使用できるように、またはできないようにする。
- ・ 飲み物一杯分の抽出または連続抽出。
- ・ お客様専用の省エネルギー設定。
- ・ お客様の要求仕様に従った専用の清掃設定。

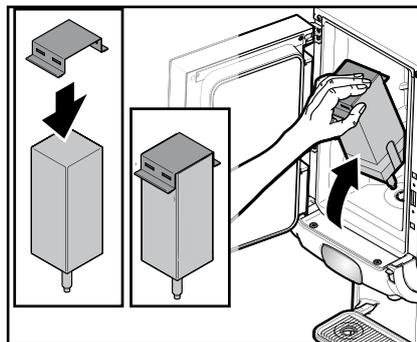


図41

ハードウェアアクセサリ

小型製品パック用アダプタ

1.25リットル/0.33 galの製品パックをセットして装置を使用される場合、Cafitesseシステム販売店では、製品パックを正しい位置に固定するための専用アダプタをご用意いたします。（図41）

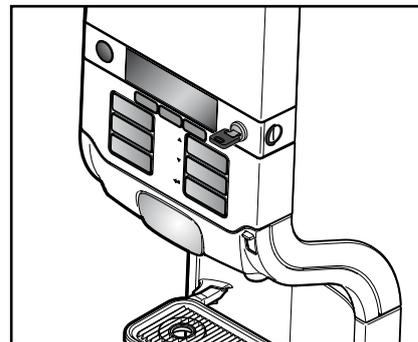


図42

扉の錠

サービステクニシャンが装置に機械的な扉の錠を取り付けることができますので、お問い合わせください。これにより、指定されていない人が装置にアクセスするのを防げます。（図42）

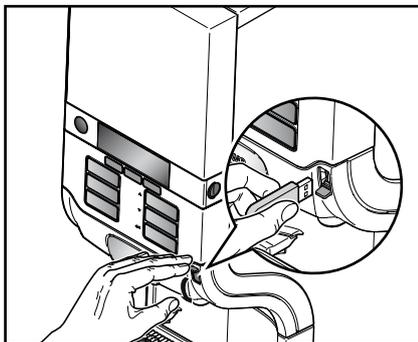


図43

USBロック解除キー

装置がロックモードになっているとき、USBロック解除キーにより、これがUSB接続部に差し込まれている間、一時的に飲み物を抽出できます。

(図43)

ベース

背の高いポットやエアポットを使用できるように、サービステクニシャンが専用ベースを取り付け、これにより、飲み物の抽出部の高さを最大33 cm (13.4 in.) に上げることができます。

自動販売システム

装置を飲み物の販売に使用される場合、サービステクニシャンが装置に各種自動販売システムを装備することができます。専用の飲み物の価格をプログラミングできますので、お問い合わせください。

水抽出用の冷却装置

追加的に冷水と冷たい飲み物を抽出するために、サービステクニシャンが装置に専用冷却装置を装備することができます。



注意

国や地方の法規に基づき、清潔で安全な冷たい飲み物を保証するために、現地で水質検査をしてください。

10 索引

F

「First in - First out」原則 8

H

HACCP 8, 10, 18

U

USB接続部 20, 39

USB操作者キー 25

あ

安全使用上の注意事項 4, 5, 8, 10, 18, 24

一杯の分量 15

運搬 7, 8

エコ 12, 26, 35-36, 39-40

エネルギー消費 35

エラー 11, 40

エンターキー 25

か

カウンタ数 26-28

カウンタをリセット 29

カッププレート 11, 13, 15, 16, 24

技術仕様 42-43

給水 6, 11, 19, 40

給電 19, 41

研修 10

濃さの予備選択 15, 16

さ

サービスモード 12

時刻、設定 32

周囲温度 43

重量 42

省エネモード 12, 35-36, 40

消費期限 9, 10, 18, 19

賞味期限 8, 10, 18

食品の安全 4, 8, 10, 18, 21

スイッチを入れる 19

スイッチを切る 19

ストップキー 25

寸法 42

清掃 10, 12, 21-24, 39

清掃工程 21, 23

清掃日 33-34

製品パック 4, 7-9, 12, 17-19, 39

設置 6

設定：清掃日 33-34

設定：電話番号 37-38

設定：飲み物の濃さ 26, 31

設定：日付 / 時刻 32

設定：分量 27, 30

洗浄 22, 23, 33-34, 41

操作 4, 5, 7, 8

操作者モード 12, 25-38

装置の正面 6, 12

装置の裏面 6, 12

た

ディスプレイ 11, 12

手作業による日々の清掃 24

電源ケーブル 6, 11

電話番号 17, 26, 37-38

ドリッププレート、ドリップトレイ 11, 24

な

熱湯 4

飲み物一杯分の抽出 14

飲み物キー 11, 13

飲み物の濃さ 16, 26, 31

飲み物の濃さ：設定 35

飲み物の濃さ：予備選択 15, 16

飲み物の抽出 13-15, 19-21, 39-40

飲み物の連続抽出 14

は

日付 / 時刻 32

日々の清掃, 24

フィルター（浄水フィルター） 12, 40

プログラミング 5-7, 17, 25

分量設定 26, 30

分量予備選択 12, 15, 27-28

保管 7, 8

や

矢印キー 25

予備選択 11, 12, 15, 16, 26-28

ら

リセット可能カウンタの読み取り 26-29

冷飲料の予備選択 12, 15, 17, 26-28

冷却系 19

冷蔵庫 7, 19

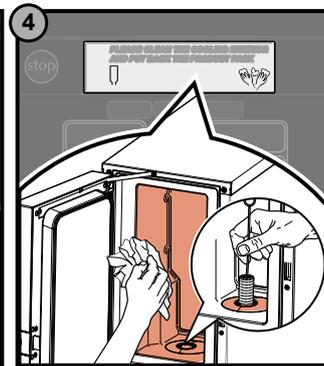
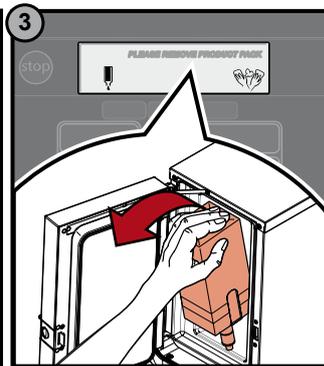
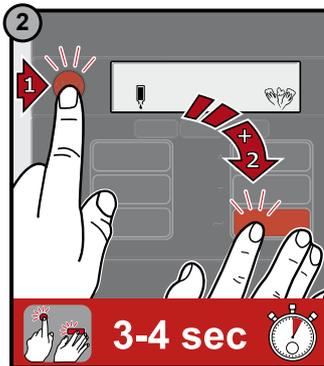
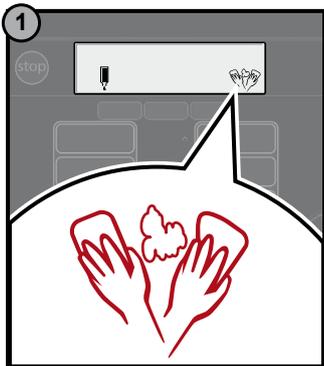
冷蔵室 11, 12, 19-22

ロック/クリア・エラー・スイッチ 11,

20, 24, 39

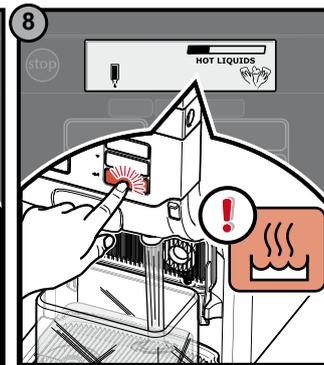
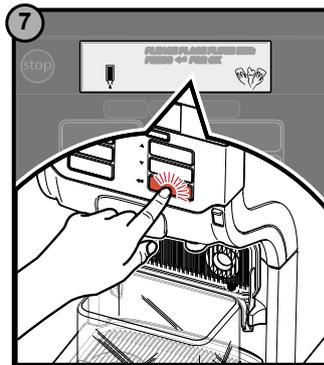
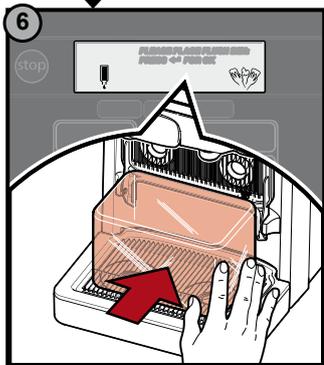
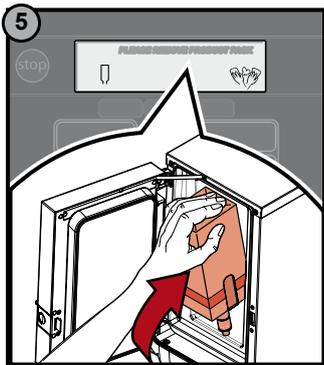
清掃工程

清掃（毎週）



オプション
としてして

洗浄



インデックス - 付録

A 水タンク（オプション）の洗浄

付録 A - 水タンク（オプション）の洗浄

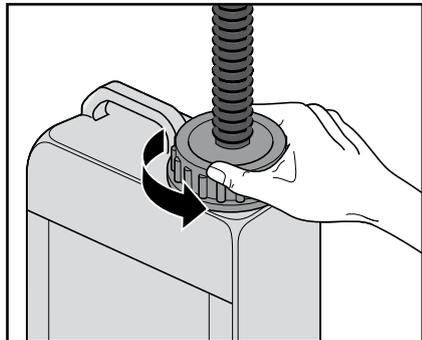


図 A1

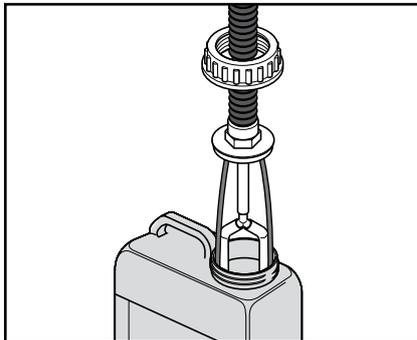


図 A2

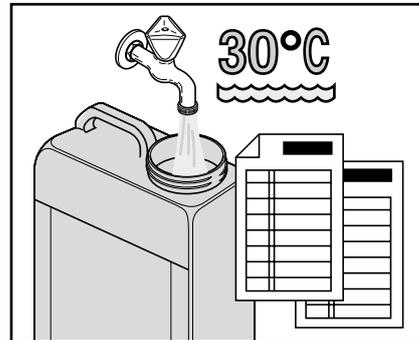


図 A3

水タンク（オプション）の洗浄

-  **注意**
水タンクには直射日光を当てないでください。
-  **注意**
水タンクキットは一時的に使用するもので、継続使用はできません。
-  **注意**
水タンクの飲料水は毎日新しいものに取り替えてください。
-  **注意**
タンク内のポンプは常に水に浸かっているようにしてください。

- ・ コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ・ 水タンクのフタのネジを緩めます。（図 A1）
- ・ ポンプユニットを外します。（図 A2）
- ・ 柔らかいブラシでポンプユニットを洗浄し、数回すすぎます。
- ・ 水タンクを空にし、温かい飲料水で 2 回すすいだ後、飲料水（19L）を満たします。

-  **注意**
タンクに入れるのは冷たい飲料水に限ります（最大30℃）。飲料水の質に関する現地の法規に従ってください。（図 A3）

- ・ 水タンクにポンプユニットを挿入し、フタで塞ぎます。

-  **注記**
ホースが曲がっていないか確認してください。

- ・ 電源プラグを差し込み、機能を点検してください。